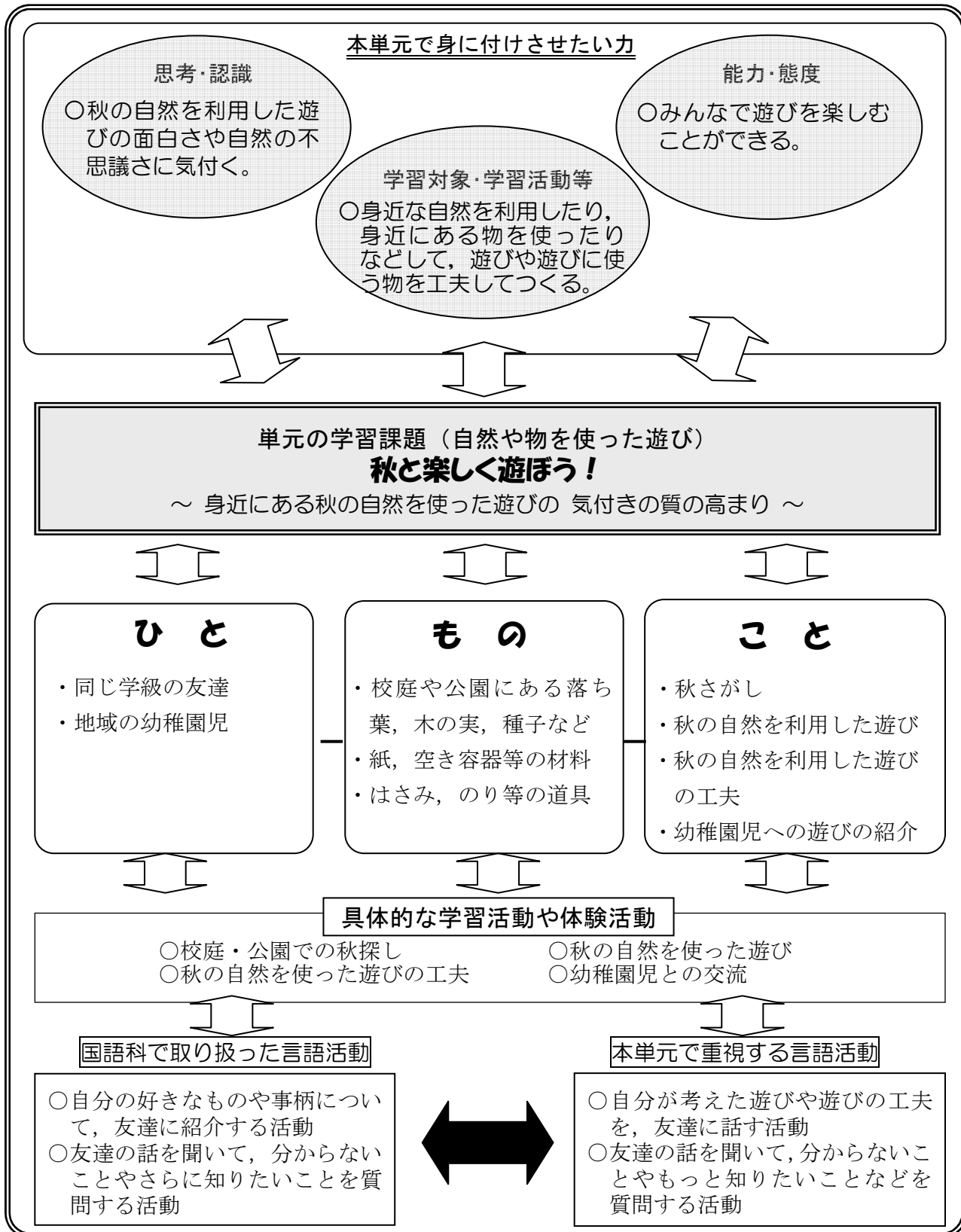


学年	単元名	児童	場所	指導者
1年	あきと あそぼう	1年1組 30名	1年1組 広場	平井 靖子

1 単元で身に付けさせたい力と学習対象… 【研究視点1 旭川を見つめ、確かな力を身に付けさせる学習対象の吟味】



2 単元について

(1) 内容とのかかわり

本単元は学習指導要領生活科の内容(5)、(6)と主に関連し、内容(6)を重点とした単元である。身近な自然を観察し、自然を利用して遊ぶことで、季節の変化を体全体で感じ取り、遊びの面白さや自然の不思議さに気付いたり、みんなで遊ぶことを楽しんだりできるように設定したものである。

秋の自然と触れ合うことにより、いつも目にしている校庭や公園の草花や樹木が、季節と共に変化していることに気付かせる。そして、変化していく自然物を使って、遊びを楽しんだり、遊びを工夫したりすることで、秋の自然からいろいろな遊びができることに気付かせ、遊びの面白さや自然の不思議さを感じ取らせていくことを目指している。



(2) 児童の実態

本学級の児童が生活する地域は、旭川でも中心部に近く、古くからの商業地や住宅地が広がっている。校区には子どもたちが自由に遊ぶ公園や野原が少なく、放課後も校庭に集まって遊んでいることが多い。児童の遊びの中心は遊具であり、校庭は普段からきれいに整備されていることから、足元にある草花に目を向けて遊びを楽しんだ経験のある子は少ない。

1学期に学習した「ぼかぼかのはらであそぼうよ」では、初夏の校庭や公園で草花遊びを行い、普段遊んでいる場所にある草花からもいろいろな遊びができることに気づき、遊びの楽しさを味わった。



(3) 指導について

本単元では、身近な自然との触れ合いの場を、子どもたちが普段遊んでいる校庭や公園に設定する。季節が移り変わることによって草木などが変化することに目を向けさせ、春とは違った遊びができることに気付かせることで、季節の移り変わりを感じ取らせていく。

また、自然に対する興味・関心を高めるために、落ち葉や木の実などを使って遊ぶ時間を十分に保障し、遊びを考えたり遊びを工夫したりする活動を通して、いろいろな遊びができることに気付かせ、自然とかかわって遊ぶことの楽しさを味わわせる。

そして、自分が遊んだことを紹介したり、身近な材料を加えて遊びをより楽しくしたりするための工夫を考え発展させていく活動を通して、遊びの面白さや遊びを通して感じた自然の不思議さに気付かせていく。

さらに、地域の幼稚園児と交流する場を設定し、見つけた遊びを教えたり、遊びを楽しんでもらったりするための工夫を考えることで、気づきの質を高めていく。また、一緒に遊んだり遊びを伝えたりすることで、人とかかわりを広げていく場としたい。

3 単元の目標

身近にある落ち葉や木の実などを利用したり，身近にある物を使ったりして，遊びや遊びに使う物を工夫してつくり，その面白さに気づき，みんなで遊びを楽しむことができる。

4 評価規準

(1) 単元の評価規準

生活への関心・意欲・態度	活動や体験についての思考・表現	身近な環境や自分についての気づき
積極的に落ち葉や木の実などを使った遊びを考えたり工夫したりして，みんなで遊びを楽しむことができる。	落ち葉や木の実などを使って楽しく遊ぶ工夫を考えたり，気付いたことを表現したりすることができる。	さまざまな遊びを通して，秋の自然に親しみ，落ち葉や木の実などを使って遊ぶことの楽しさに気付いている。

(2) 学習活動(次のまとめ)における具体的評価規準

小単元(次)	ア 生活への関心・意欲・態度	イ 活動や体験についての思考・表現	ウ 身近な環境や自分についての気づき
第1次	①季節の変化に関心を持ち，校庭や公園にある落ち葉や木の実などを使った遊びを楽しんでいる。	①見つけた秋や遊びについて，絵に描いたり，紹介したりすることができる。	①季節が変化し，落ち葉や木の実などを使っている遊ぶことに気付いている。
第2次	②落ち葉や木の実などを使った遊びを工夫したり発展させたりして，遊びを楽しんでいる。	②落ち葉や木の実などを使った遊びの工夫を考え，考えた遊びを友達に紹介することができる。	②落ち葉や木の実などを使った遊びの面白さに気付いている。
第3次	③幼稚園児に進んでかかわり，落ち葉や木の実などを使った遊びを一緒に楽しんでいる。	③幼稚園児と一緒に遊ぶことができる遊びを考えたり，教え方を工夫したりしている。	③幼稚園児との交流を通して，楽しく遊ぶための工夫に気付いている。

5 単元の展開 (全16時間) …………… 【研究視点2 一人一人の子どもに確かな力を身に付けさせる単元構成の工夫】

次	時	学習の流れ	○主な学習活動 ※他教科等との関連的指導	◇教師の指導 ◆評価計画
第1次 おちばや木のみ	①	対象との出会い 活動への見通し	○校庭を探検し，秋さがしをする。 ・木のはのいろがかわったね ・おちばがたくさんあるよ ※道徳「動植物にやさしい心で」[3-2自然愛] ⇒身近な自然に親しむ	◇色や手触りなど，春や夏との違いに目を向けさせる。 ◆ア①(行動観察) ※季節探しをし，自然に親しむことで身近な自然に優しく接する心を育てる。
	②	追求活動	○校庭を回り，落ち葉や木の実などで遊ぶ。 ・おちばのふとんだよ ・木のみをころがしたよ ・もっとたくさん木のみはないかな ○公園に行き，落ち葉や木の実などで遊ぶ。 ・いろんないろのはっぱがあるね ・いっしょにはっぱであそぼうよ	◇秋の自然素材で十分に遊ばせる。 ◇気に入った落ち葉や木の実などを見付けることができるよう支援する。 ◇遊びを見付けることができない子と一緒に遊び，遊び方を教える。 ◆ア①，ウ①(行動観察)

あそぼう	①	活動の まとめ	○遊んだことを学習シートにかき、紹介し合う。 ・おちばやきのみであそびができたよ ・おちばであそんでたのしかったよ ・あそびをもっとたのしくしたいな	◇絵や文に書かせる。 ◇よい気付きを取り上げ、全体に広める。 ◆イ①, ウ① (行動観察・作品分析)
	⑤		おちばや きのみなどで あそんで たのしかったね!	
第2次	①	対象との 出会い 活動への 見通し	○落ち葉や木の実などを集め、遊びの計画を立てる。 ・たのしいあそびにしよう ・木のみでなにかつくれないかな? ・たくさんあつめよう ※学活「みんな仲良く」[内容(2)ーウ] ⇒友達と仲良く遊んだり活動したりする。	◇身近な材料や道具を使って、遊びが楽しくなる工夫を考えさせる。 ◇遊びに使うことができる自然物を採らせる。 ◆ア②, イ② (行動観察) ※友達と楽しく活動できることを考える。
	①	追求活動 本時	○落ち葉や木の実などを使った遊びを工夫し、遊びを楽しむ。(本時) ・かざりをつくってみようかな ・おちばをかみにはってみたいよ ・くふうするとたのしいね	◇秋の自然を生かした遊びになるよう工夫させる。 ◇遊びが進まない児童への支援をする。 ◆ア②, ウ② (発言分析・行動観察)
	②		○落ち葉や木の実などを使った遊びを工夫し、遊びを楽しむ。 ・おもちゃをかんせいさせよう ・ともだちにやりかたをおしえてもらおう ※図工「はっぱのへんしん」(工作) ⇒葉の形や色や大きさを生かして作品を作る ※音楽「すてきなおと」 ⇒身近な素材の音の響きの面白さを感じ取る	◇遊びが進まない児童への支援をする。 ◆ア②, ウ② (発言分析・行動観察) ※葉の色や形を生かし、並べ方を工夫して制作させる。 ※落ち葉や木の実などを使った楽器の、響きの面白さを感じ取らせる。
	①	活動の まとめ	○新しい発見を学習カードにかき、紹介し合う。 ・はっぱでえをつくってたのしかったよ ・きれいなかざりができてうれしかったよ ・またようちえんのことあそびたいな	◇楽しい遊びにするために工夫したことなどを絵や文にかかせる。 ◆イ②, ウ② (行動観察・作品分析)
	⑤		くふうすると もっと あそびが たのしくなったよ!	
第3次	③	対象との 出会い 活動への 見通し	○幼稚園児との交流の計画を立てる。 ・たのしかったあそびをおしえてあげよう ・たくさんよういをしよう ・どうしたらよるこんでもらえるかな	《外部施設とのかかわり》 ◇園児も一緒に遊ぶことができるよう遊びの内容を工夫させる。 ◆ア③, イ③ (発言分析・行動観察)
	②	追求活動	○幼稚園児と一緒に遊ぶ。 ・いっしょにあそぼうよ ・やりかたをおしえてあげるよ ・こうやってあそぶとたのしいよ ※道徳「ぼくにできること」[2-2 思いやり] 幼い人に温かい心で接し、親切にする	◇なかなか関われない児童への支援をする。 ◆ア③, イ③ (行動観察) ※幼稚園児に親切にしようとする気持ちを、素直に表現できる力を育てる。 ◇楽しんでもらうための工夫などを絵や文にかかせる。
	①	活動の まとめ	○一緒に遊んだことや見付けたことをまとめる。 ・いろいろなあそびができたね ・ようちえんのこがよるこんでくれたよ ・あきのあそびってたのしいね	◇気付きを記述できない子には、対話して書き加えさせる。 ◆ウ③ (行動観察・作品分析)
⑥		あきの あそびって たのしいな!		

6 研究とのかかわり

(1) 秋の自然とかかわる学習対象を吟味する……………【研究視点1】

校庭の落ち葉や木の実と身近な材料を組み合わせる

第1次での体験活動は、校庭や公園にある「落ち葉」や「木の実」を中心に、その場で見つけた秋の自然素材を使って行う。子どもたちが日常的に活動している場で1年を通して体験活動を行うことで、季節による自然の変化をより感じ取りやすくする。

第2次からの活動は、学校生活の中心となる教室で行う。教室は、「筆記用具」や「はさみ」など、普段子どもたちが使っている学習用具をすぐに行うことができる環境にある。「画用紙」や「ペットボトル」などの身近な材料も使えることで、子どもたちの意欲はさらに高まっていくであろう。

また、校外の広い空間ではなく、教室といった限られた空間での活動が、子ども同士の交流をより生みやすくすることも考えられる。

今後の自分たちの遊びや生活の工夫につながっていくことを期待している。

(2) 秋の自然への気付きの質を高めさせる単元構成の工夫……………【研究視点2】

「秋の素材を使った遊び」を中心とした変化のある体験活動の繰り返し

本単元では、「秋の素材を使った遊び」を体験活動の中心として位置付けた。

第1次の「校庭」から「公園」、第2次での「教室」へと活動場所が変わるのに伴い、「楽しい遊びを見付ける」から「より楽しい遊びになるための工夫をする」というように活動の目的(課題)を発展させていく。

第2次は3回目の秋の素材を使った遊びとなるが、前2回の活動に加え、室内だからこそ使える材料を加えたり道具を使ったりして遊ぶことで、子どもなりの工夫や新たな発見を導き出していく。

また、第3次では「幼稚園児と一緒に遊ぶ場」を設定し、幼稚園児に楽しく遊んでもらうための工夫を考えることを通して気付きの質を高めていく。

(3) 秋の自然への気付きの質を高めさせる手立ての工夫……………【研究視点3】

活動をイメージすることができる板書

子どもたちが活動中に、新しい材料が必要になったり、使いたい道具を探したりすることがある。黒板に、準備している「素材」や「材料」「道具」を視覚的に分かりやすく掲示しておくことにより、活動をイメージしやすくし、新たな気付きへの手がかりとする。

子どもの発見や発想のよさを引き出すための対話

1年生の子どもの中には、全体に対する指示や問いかけを自分のこととしてとらえることが難しい子も多い。活動の中で、一人一人の子どもの発見や発想のよさを取り上げて認めることで、新たな意欲や、「遊んで楽しい」という情緒的な気付きから「遊びを工夫して楽しかった!」「落ち葉や木の実と材料を組み合わせるとこんなこともできた!」という気付きへと高めていきたい。さらに「こうしたら幼稚園の子に楽しんでもらえた」「上手に教えることができた」という自分の成長への気付きへと高めていく。


また、うまく遊ぶことができない子や遊びに集中できない子には、一緒に遊んだり、「〇〇するには、どうしたらいいかな?」「〇〇を使ったらどうなるのかな?」といった問いかけをしたりすることで、遊びの楽しさを味わわせ、自分なりの発見ができるように支援していきたい。

7 本時の学習 …………… **【研究視点3 気づきの質を高める学びを生む指導方法の改善】**

(1) 本時の目標

○ 落ち葉や木の実などを使った秋の遊びを工夫して、遊ぶ楽しさを味わう。

(2) 本時の展開 (第2次 5時間扱いの2時間目)

主な学習活動	◆見取りの観点 ☆研究とのかかわり ○教師の働きかけ
<p>1 これまでの秋の遊びを想起する。</p> <p>2 本時の学習内容を確認する。</p>	<p>○校庭や公園での、落ち葉や木の実などを使った遊びを想起させる。</p>
<p>くふうして たのしく あそぼう!</p>	
<p>3 活動の見通しをもつ。 ・材料や道具を使ってどんなことができそうか考える。</p> <p>4 落ち葉、木の実などを使って遊びながら、遊びを工夫したり教え合ったりする。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>・はっぱを かみにはって えを かこう ・はっぱの おめに かざりをつけよう ・かんむりに はっぱをつけたよ ・きのみで がっきが できたよ ・もっと つくって ゲームをしよう</p> </div>  <p>5 次時の意欲をもつ。</p> <p>6 材料や道具を片付ける。</p>	<p>☆ 活動をイメージさせる板書。 … 【研究視点3-3】 ・黒板に素材や材料、道具などの絵や写真を掲示する。</p> <p>○遊びを工夫させて楽しく遊ばせる。 ☆遊びを工夫するための環境構成 … 【研究視点3-1】</p> <p>○つぶやきを大切にし、認めほめることで、よい発想であることに気付かせる。 ☆発見や発想のよさを引き出す対話 … 【研究視点3-3】</p> <p>○遊ぶことができない子には、一緒に遊んだり他の子の遊びを紹介したりする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>◆ア②, ウ② (発言分析・行動観察) 遊びを工夫しながら楽しんで遊んでいるか。</p> </div> <p>○頑張りや気づきを紹介し、次時の意欲をもたせる。 ○作ったものはまとめておき、続きができるようにする。</p>

(3) 本時の評価規準

◆ 評価規準の具体 (評価方法 ~ 発言分析・行動観察)	
十分満足できる	(A) : 木の葉や木の実を使った遊びを工夫したり発展させたりして、遊びを楽しむことができる。
おおむね満足できる	(B) : 自分なりの方法で遊ぶことができる。
努力を要する児童への指導	: 具体的な遊びをイメージさせて、遊ぶことができるよう支援する。